

本書を読まれる方へ

約3万から絞り込んだ優良治療院

本書には、152の優良な整骨院・接骨院が掲載されている。現在、整骨院・接骨院の数は全国で3万を超えるといわれている。それらからある程度絞り込んでいくため、ある基準を設定した。例えば、来院患者数。外傷が多いのか、慢性疾患が多いのか。設立後何年目か、あるいは何代目か。スタッフ数、院の面積、得意な症例等々。もちろんすべての治療院がこれらの条件を満たしているわけではない。例えば開院間もない治療院でも、評判のいいところはあるし、規模は小さくとも多くの患者から信頼を得ている院もまた多い。あくまで目安としての基準であり、それ以外にもクチコミ、ホームページの内容などについても検証を行っている。

優良治療院を見極める3つの要素

最終的に「優良治療院」を選定するにあたり、3つの要素を重視した。それは

○一貫性のある治療理論と高い治療技術

○治療家の人柄のよさ

○行き届いたスタッフ教育
である。

しかしながら、治療理論の善し悪しを判断することは実はかなり難しい。治療家は治療家の数だけ理論が存在するといってもいいからだ。それらは基本的に、筋肉や関節を正しい状態に戻すことを論じているのだが、なぜ異常が生じるのか、そしてその異常を正すにはどうするかという治療理論の点で、個々の治療家は独自の異なる主張をする。

この点に関しては、身体やその疾患の捉え方にはさまざまな視点があり、特定の治療法においてその視点がうまく機能し「治癒」という結果がもたらされればそれでいいと本書は考える。

ただし、その治療理論に一貫性が欠けていて支離滅裂であったり、理論と実際の治療手法とが一致していなかったりする場合には必然的にそれは「治癒」という結果の伴わない治療になり、さらにそのような治療家に「この症状はこの治療で治るのか？ なぜ治るのか？」ということを質問しても、納得のいく答えは返ってこないだろう。

例外として、直感タイプの治療家の場合には理論抜きで治療を行って成果を上げていることがあるかもしれない。しかし一般的には、優秀な治療成績をあげている治療家は治療技術との整合性のある治療理論を背景に治療を行っているものだ。

治療理論に関してもう一つ付け加えておくと、その理論を西洋医学の考え方と照らし合わせたときに、ある程度の整合性を持っていることもまた重要だ。伝統的な柔道整復の考え方は西洋医学とは異なった治療理論ではあるが、それでも西洋医学の考え方と違和感のない形で「この症状は柔道整復で治るのか？ なぜ治るのか？」ということを患者が納得できるように説明してくれるはずだ。説明できるから実際の治療成果として常に現れるとはいえないものの、やはり自分の中に治療理論をしっかりと持っているならば、その治療は信頼できると判断していいのではないだろうか。

次いで「治療家の人柄のよさ」「行き届いたスタッフ教育」という要素についても説明しておこう。

昔であれば「ぶつきらぼうだが腕はいい治療家」というイメージも成立したかもしれない。しかし現在では、ストレスが筋肉の過緊張とそれに伴う痛みを引き起こすことが医学的にも証明されているため、患者を第一に考える治療家の多くは、患者へ意識的に優しい

言葉をかけたり、その話に親身に耳を傾けたりするなど、メンタル面へのケアに関する工夫を心がけているものだ。もちろん、患者に対して厳しい言葉を投げかける人がいないとはいえない。しかしそのような場合でも、厳しさの裏に「早く治ってほしい」という治療家の優しさが垣間見えるのである。

いずれにせよ治療家の人柄は、最終的には治療へ取り組むときの姿勢が真摯なものであるか否かという部分に現れるだろう。それはある治療家においては優しい言葉として現れ、また別の治療家においては厳しい言葉として現れるのだ。そしてその真摯さが、必ずスタッフの質にも反映される。一般的には、接客面がきちんとしていて、掃除なども行き届いているところほど治療技術も高く、結果的に治癒率も高いと考えていいだろう。

一貫性のある治療理論と高い治療技術、治療家の人柄のよさに加え、行き届いたスタッフ教育もまた「優良治療院」の重要な構成要素なのである。

柔道整復師は国家資格

ここで改めて「整骨院・接骨院」について説明しておこう。

整骨院は、整体やカイロプラクティックとは全く別物だということである。現状では、整体やカイロプラクティック等には法的な管理下における統一的な教育・資格制度がないのだ。学校にしても数年間通うところもあれば、通信教育が中心のところもあり、人の体に触れる機会がほとんどないまま開業することさえあり得る。治療事故を起こす可能性も少なくないということだ。

一方、整骨院・接骨院は、「はじめに」でご説明したように「柔道整復師」という国家資格が必要とされる。とはいえ、資格があるというだけでは「優良整骨院」の条件を満たしているとはいえない。資格とは単に、それぞれに規定された治療を施してよいと許可するものであり、治療院の実績に対して与えられる評価ではないからだ。

よい治療院の見分け方

「〇〇治療院」と看板を上げていたとしても、リラクゼーションや慰安的側面を重視しているところも少なくない。

確かに心身がリラックスすることで自然治癒力が高まって、症状が改善に向かうことは

否定できないものの、痛みや各種の症状を速やかに解消させるための体系的な理論と技術がなければ、時間とお金ばかりをムダにしてしまうのは確実だ。

多くの場合、広告や看板などでその治療院の趣旨は理解できるだろうし、インターネットのホームページなどに治療についての考え方を詳しく述べていることもある。まずはそういういったものに目を通すだけでも、選択肢が狭まり、治療院選びは容易になるはずだ。

宣伝ではわからない生の声として、親類や知人のクチコミ情報は大いに役立つ。もちろん、他の人の痛みに効いたからといって自分の痛みに効くとは限らないのだが、それでもその治療院の方向性が明確に見えるという点ではたいへん有益である。

治療家の書いた本や、実績のある治療院を取材した本などが参考になることもある。

本書では、各治療院の特徴や個性を簡潔に紹介している。そこには共通してある種の香りのようなものが感じられるはずだ。それは実績のある治療院に特有のある種の空気感ともいえる。

このような治療についての本を読む場合には、そういった空気感を読み取る感性も求め

られるのである。

西洋医学では、検査数値に応じて教科書通りの治療を行うことがおおむね正しいとされている。しかし個々の患者の微妙な違いに対応していかねばならない手技療法の世界は、極めれば極めるほど独自の方法が形成されていく。

手技療法をはじめとする治療法は、治療家の五感をフルに使って目の前にいる患者を検査・診断・治療する。そのため西洋医学のように、患者の状態を数値化して把握しない代わりに、数値では測ることのできない個々の体の微妙な違いに気づくことが可能になる。

個々の患者の違いに応じるといふことは、ワンパターンの治療では対応しきれないといふことだ。それぞれの治療法において定型の手順があるのはもちろんだが、腕のいい治療家ほど既存の治療法を定型通りこなすのではなく、患者の傾向に応じて独自の技術や治療手法の組み立てを考慮する。

実績のある治療院で「○○式治療法」のような独自の名称が掲げられていることが多いのはそのためと考えられる。

上手な通い方と治療費について

自分でここと選んだ治療院に通院する際、いくつかの心がけや注意点が必要だ。

まず大切なのは、通院回数を目安を最初に確認し、いったん継続して通院することにしたのなら、最低でもその回数分はきちんと通うということだ。数度の治療で良くなることも確かにあるが、基本的には長年の悪習慣で悪くしたもののほど、よくなるまでにそれ相応の時間がかかってしまうものである。そこで、初診のときに伝えられる治療計画をよく理解し、十分に納得してから通院を開始することが重要である。

さらに、通院するなかで不明な点があれば臆することなくなんでも聞いてみることも必要だ。特に治療成果が今一つ思わしくない場合には、それをストレートに聞いてみるのもいいだろう。真摯な治療家であれば、それを受けて治療方法を変えてくれるか、あるいは成果が上がるまでに今しばらくの時間がかかるというのであれば、そのことをきちんと説明してくれるはずだ。

次に、通院していく過程でハードルとなってくるのが金銭の問題だ。「治す」ことにこ

だわりを見せる治療院の場合、廉価な保険診療ではなく、実費診療を主にしていることが多い。実費診療は保険診療と比べて、高額な治療費設定となってしまう。特に院長が直接手をかけて行う治療では、それなりの金額になってしまうことは仕方のないことであり、通院を繰り返すことで患者側の金銭的な負担は必然的に大きなものとなってしまふ。

一般の病院で治癒もしくは改善できなかった症状が治るのであれば、治療費が高額になっても不満は出にくいだろう。しかしなかなか結果が出ない場合には、どこで諦めをつけるかということを考えてはならない。

現実的には、100パーセントの治癒率というのはいないし、個人からの状態とその治療法との相性というものもあるので、通院を開始した当初に提示された通院回数を目安を超えても目立った改善が見られない場合には、通院を止めるという選択肢を選ぶこともありうることもまた考えておくべきだろう。

掲載した整骨院・接骨院の中に、それぞれの読者に適した治療院が見つければ幸いである。

特殊なベッドを使つて 安全で痛くない自然治療



健向接骨院

中川忠典 先生

トムソンベッド、コックス牽引ベッドなどの特殊なベッドと手技によって、安全に、痛くなく、「痛みを解決」。独自の運動療法も多くの患者から支持を受ける。

PROFILE ● なかがわ ただのり

健向接骨院院長。1964年埼玉県生まれ。東京柔道整復専門学校卒業。その後、接骨院で9年(5院)、整形外科で4年(1院)間勤務し、治療の経験を積む。2001年健向接骨院を開業。以来、毎年1,000名以上の新規の患者を診る中、「取れるはずの痛みは確実に取り除く」を信条とする。痛みを取ることを第一としているため、無痛のカイロプラクティックや鎮痛効果に優れている物理学的療法の機材を揃える。日本抗加齢医学会会員。

むち打ち症、産後の腰痛および骨盤の矯正、椎間板ヘルニア、ギックリ腰、顎関節症の疼痛緩和で優れた治療実績を持つ健向接骨院。中川先生は、「取れるはずの痛みは確実に取る」を理念に掲げ、多くの患者を治療する。

特にむち打ちの治療や産後骨盤の矯正については、院内で研究を進めた結果、トムソンベッドという特殊な脊柱矯正台を使って施術することにより、患者に痛みを与えることなく、確実に矯正することができるようになった。さらに、椎間板ヘルニア、ギックリ腰などにおいては、コックス牽引ベッドを使った治療が効果をあげている。これらの治療に共通するのは、決して痛みを伴わないということ。健向接骨院のカイロプラクティックは痛くなく、歪んだ脊柱を矯正することで神経生理機能を回復させ、人間本来の自然治癒力を高めて、根本的に病気を治していく。

さらに、中川先生は運動療法にも力を入れる。頸椎モビリゼーション、膝関節運動療法、膝蓋骨運動療法等々、健向接骨院ならではの視点と方法で、懇切丁寧に指導してくれる。

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀 3-3-17
サンロード中浦和 1F Tel 048-838-5218
<http://kenkou-g.jp/>

健向接骨院



診療時間

■予約制

月～土 9:00～12:00 15:00～19:00
日 9:00～12:00

休診日 祝日

健向接骨院ではスタッフに対して、徹底した指導と、キャリアパスを導入した人材育成プログラムにより、6年間をワンクールとして独立や分院の支援を行っている。これにより、スタッフのレベルとモチベーションは常にハイレベルを維持している。